

市民フォト鹿児島

**itizen
Photo
Magazine**

No.39

平成2年1月1日発行

特集

西郷と大久保

正月の女の子の遊びとして代表的なのが羽根突き。一つの羽根を二人以上でつく追羽根や、数え歌を歌いながら一人でついて勝負を競う揚羽根などの遊び方がある。

たくさんの色鮮やかな羽子板に囲まれてハイ！ポーズ。羽子板に晴れ着、一段と華やかだ。（人物は、ミス鹿児島の石田真理子さんとさつき幼稚園の大平 愛ちゃん）



わがまち
高 度

350m



歴史と文化の道周辺

その終点一帯に、鶴丸城跡や西郷銅像をはじめ、史跡や文化財が数多く残る国道10号が、中央を縦に走っている。鹿児島市は、いま、「歴史と文化の道」として、古き薩摩をしのばせるこの一帯の景観整備を進めている。

また、ここには、たくさんの文化施設（市立美術館、県歴史資料センター黎明館、県立図書館、県立視聴覚センター、県立博物館、市中央公民館、県文化センター、市教育総合センターなど）が集まっています、「かごしま文化ゾーン」として親しまれており、「かごしま文化ゾーン」として親しまれており、「かごしま文化ゾーン」として親しまれて

いる。

そのほか、手前には市民の憩いの場である中央公園、中央には市内の小学校では唯一屋上にプールがある名山小学校、そして右上には県庁、市役所も見える。

CONTENTS

わがまち高度350メートル P 2

特集 / 西郷と大久保 P 3~9

クローズアップ（田口一夫さん） P10~11

学校探訪（黒神小学校） P12~14

ふるさとの史跡（伝豊臣秀頼の墓） P15

集えば楽し（下田町・世界平和太鼓） P16~17

市民のひろば（副都心、谷山をみる） P18~20

ハロー鹿児島（麥志光さん） P21

あなたのフォトサロン（市民ふれあいリレーカーニバル） P22~23

こんにちは市長です（自衛防火協会の方々との語らい） P24~25

わたしの散歩道（歌を通して毎年違う自分に会えるんです） P26~27

カメラトピックス P28~29

あの店この店（鹿児島琉球漆器） P30

市立美術館（薩摩雪） P31

特集

西郷と 大久保

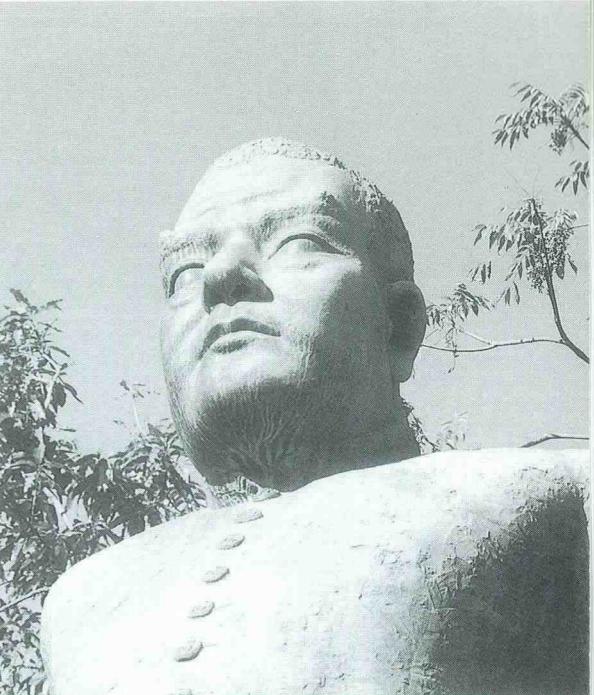
NHK大河ドラマ『翔ぶが如く』の放映を間近に控え、いま、さらにクローズアップされる二人のヒーロー——西郷隆盛と大久保利通。この二人の偉人は、『幕末から明治へ』という激動の時代を、大きくかかわりながら共に生きました。

今回は、鶴丸城下下加治屋町の郷中で、薩摩独自の郷中教育を受けて育ち、のちに近代国家づくりの主動力として活躍した「西郷と大久保」を特集しました。



郷を斎彬が認めたといわれます。

江戸藩邸で西郷はお庭方役にとりたてられ、斎彬から一対一で教育を受けました。誠実で情熱のある学者や知識人とも交わり、大きく成長、薩摩の西郷として有名になっています。



敬天愛人

日本の黎明に

命をかけた西郷と大久保

下加治屋町郷中教育

甲突川にかかる五石橋のひとつ高麗橋の近くに西郷と大久保の誕生地の碑があります。

二人は下加治屋町の郷中で育ちました。郷中というのは、数十戸を単位とした地域で、城下には約三十の郷中がありました。この郷中では、およそ六・七歳から十歳を小稚児、十一歳から十四歳を長稚児、十五歳から二十四・五歳を二才と呼び、二才が稚児を教育する郷中教育が行なっていました。

また、西郷と大久保もこの郷中教育を受け育つたのです。

また、二人は誓光寺（草牟田）の無参和尚のもとで、禪の修行にも励みました。

長州征伐

京都では長州藩を中心とする尊王攘夷派の勢いが強くなつていきました。久光は約一万人の兵を率いて上京し、公武合体を実現しようとしたがうまくいかず、京都での薩摩の評判は急激に悪くなつていきました。大久保も公武合体はもう無理だ

と考え、薩摩藩の評判を取り戻すためには沖永良部島に流されていた西郷を呼びもどすしかないと考へ、久光の側近を通じて久光に頼みました。

京都に来た西郷は大久保などと話し合い、朝廷には危害を及ぼさないようには会津藩などと協力して御所を警備し、御所を襲つてきた長州藩を撃退しました。

明治維新

第二回の長州征伐のとき、土佐藩の坂本龍馬の仲介で西郷は長州藩の桂小五郎（木戸孝允）と薩長同盟を結びました。西郷と大久保は討幕を決意し、長州藩とも話しました。

西郷と大久保も公武合体はもう無理だと考へ、薩摩藩の評判を取り戻すためには沖永良部島に流されていた西郷を呼びもどすしかないと考へ、久光の側近を通じて久光に頼みました。

京都に来た西郷は大久保などと話し合い、朝廷には危害を及ぼさないようには会津藩などと協力して御所を警備し、御所を襲つてきた長州藩を撃退しました。

西郷と大久保も公武合体はもう無理だと考へ、薩摩藩の評判を取り戻すためには沖永良部島に流されていた西郷を呼びもどすしかないと考へ、久光の側近を通じて久光に頼みました。

京都に来た西郷は大久保などと話し合い、朝廷には危害を及ぼさないようには会津藩などと協力して御所を警備し、御所を襲つてきた長州藩を撃退しました。

西郷と大久保も公武合体はもう無理だと考へ、薩摩藩の評判を取り戻すためには沖永良部島に流されていた西郷を呼びもどすしかないと考へ、久光の側近を通じて久光に頼みました。

京都に来た西郷は大久保などと話し合い、朝廷には危害を及ぼさないようには会津藩などと協力して御所を警備し、御所を襲つてきた長州藩を撃退しました。

西郷と大久保も公武合体はもう無理だと考へ、薩摩藩の評判を取り戻すためには沖永良部島に流されていた西郷を呼びもどすしかないと考へ、久光の側近を通じて久光に頼みました。

京都に来た西郷は大久保などと話し合い、朝廷には危害を及ぼさないようには会津藩などと協力して御所を警備し、御所を襲つてきた長州藩を撃退しました。

西郷と大久保も公武合体はもう無理だと考へ、薩摩藩の評判を取り戻すためには沖永良部島に流されていた西郷を呼びもどすしかないと考へ、久光の側近を通じて久光に頼みました。

為政清明

大久保と久光

斎彬の急死後、若い忠義が藩主となり、実権はその父親の久光が握るようになりました。

久光は藩の若い人たちに、斎彬の遺志を引き継ぐと話しました。

大久保たちは、久光のもとで幕

府の政治を改革して公武合体を図るため、家老の小松帶刀などと協力し次第に藩の権力を握るようになりました。

斎彬が病死し、忠義が二十九

の遺志を引き継ぐと話しました。

大久保たちは、久光のもとで幕

府の政治を改革して公武合体を図るため、家老の小松帶刀などと協

力し次第に藩の権力を握るようになりました。

一八二七(文政一〇)	調所広郷が藩財政改革にのりりたてられ、斎彬から一対一で教育を受けました。誠実で情熱のある学者や知識人とも交わり、大きく成長、薩摩の西郷として有名になっています。
一八三〇(天保元)	西郷隆盛生まれる
一八四六(弘化三)	肥後の石工岩永三五郎が西田橋をつくる
一八五四(安政元)	日本最初の洋式軍艦昇平丸を建造
一八五五(文)	斎彬が急死後、若い忠義が藩主となり、実権はその父親の久光が握るようになりました。
一八五七(文)	磯別邸に日本初のガス灯
一八五八(文)	井伊直弼、大老になる
一八五九(文)	斎彬が病死し、忠義が二十九の遺志を引き継ぐと話しました。
一八六〇(万延元)	西郷が小松帶刀、大久保を登場田門外で井伊大老が暗殺され
一八六二(文久二)	西郷が月照と錦江湾に入水し、西郷は助かり奄美大島に身をかくす
一八六三(文)	西郷は助かり奄美大島に身をかくす
一八六四(元治元)	西郷、島から帰る
一八六五(慶応元)	第一次長州征伐はじまる
一八六六(文)	久光が小松帶刀、大久保を登場田門外で井伊大老が暗殺され
一八六六(文)	西郷が月照と錦江湾に入水し、西郷は助かり奄美大島に身をかくす
一八六七(文)	西郷は助かり奄美大島に身をかくす
一八六八(明治元)	西郷が月照と錦江湾に入水し、西郷は助かり奄美大島に身をかくす
一八六九(文)	西郷が月照と錦江湾に入水し、西郷は助かり奄美大島に身をかくす
一八七〇(文)	西郷が月照と錦江湾に入水し、西郷は助かり奄美大島に身をかくす
一八七一(文)	西郷が月照と錦江湾に入水し、西郷は助かり奄美大島に身をかくす
一八七二(文)	西郷が月照と錦江湾に入水し、西郷は助かり奄美大島に身をかくす
一八七三(文)	西郷が月照と錦江湾に入水し、西郷は助かり奄美大島に身をかくす
一八七四(文)	西郷が月照と錦江湾に入水し、西郷は助かり奄美大島に身をかくす

主なできごと

西郷隆盛生まれる

大久保利通生まる

江戸藩邸で西郷はお庭方役にと

りたてられ、斎彬から一対一で教

育を受けました。誠実で情熱的

愛情を込めて与えたといわれてい

ます。

また、江戸では藤田東湖（水戸藩）、橋本左内（越前藩）などの

学者や知識人とも交わり、大き

く成長、薩摩の西郷として有名になつてきます。

斎彬と大久保もこの郷中教育を受けて育つたのです。

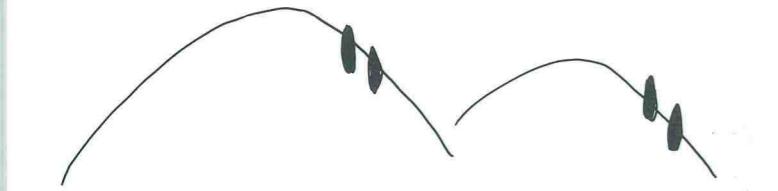
また、二人は誓光寺（草牟田）の無參和尚のもとで、禪の修行に

も励みました。

西郷と大久保もこの郷中教育を受けて育つたのです。

また、二人は誓光寺（草牟田）の無參和尚のもとで、禪の修行に

も励みました。



①鶴丸城跡（城山町）



②南洲墓地（上童尾町）



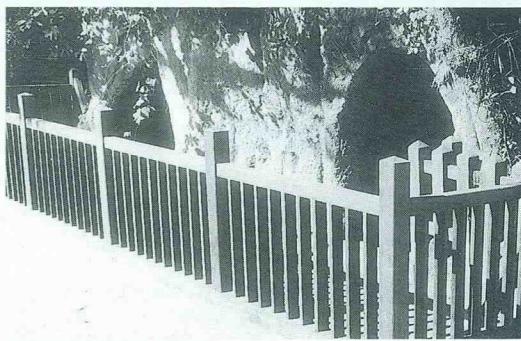
③西郷隆盛終えの地（城山町）



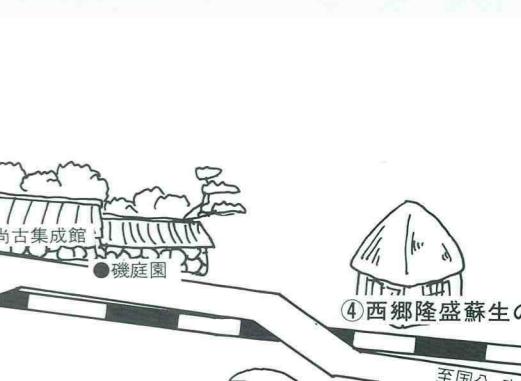
④西郷隆盛葬生の室（吉野町花倉）



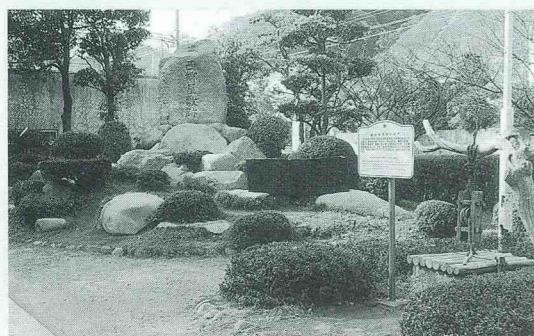
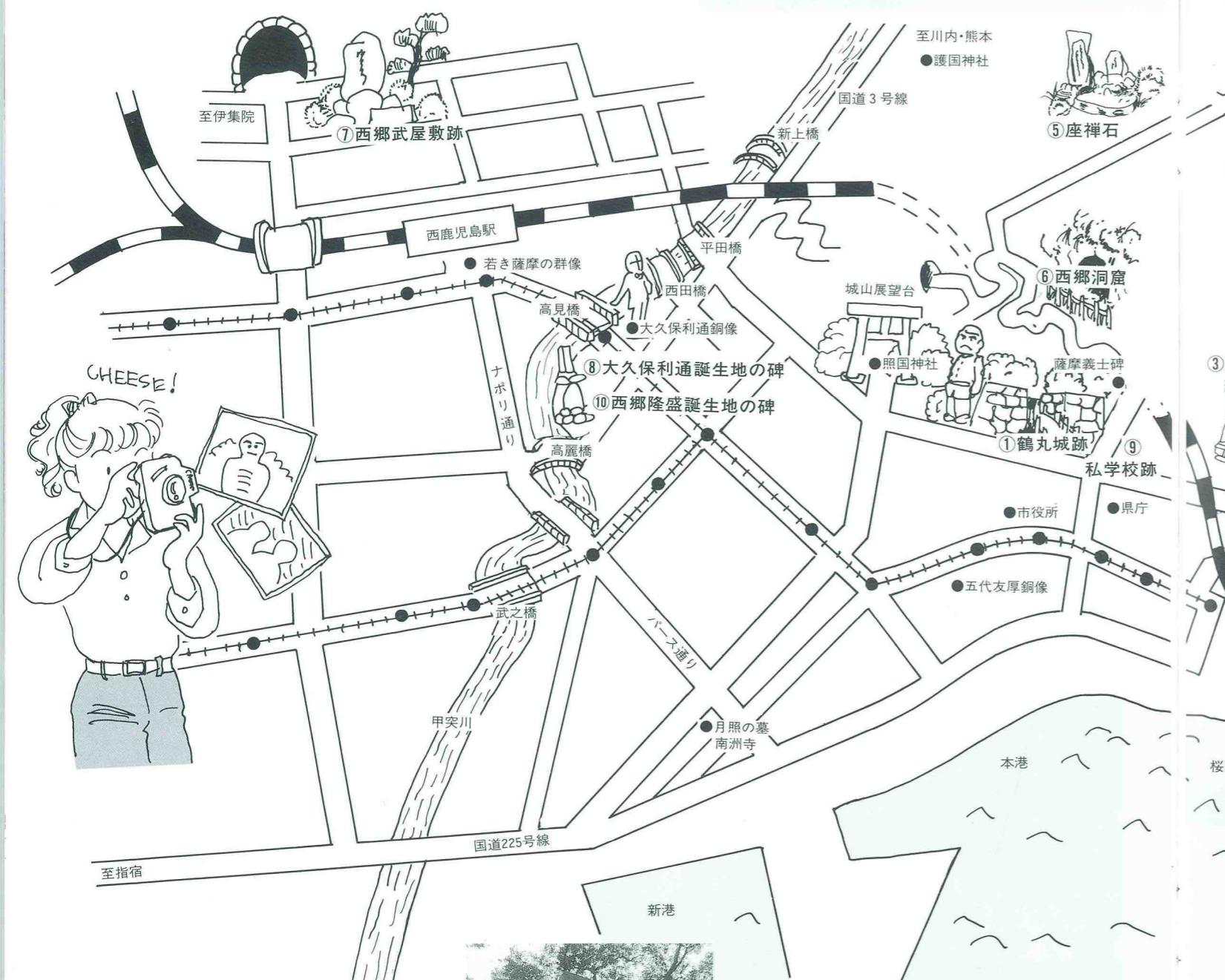
⑤座禅石（城山一丁目）



⑥西郷洞窟（城山町）



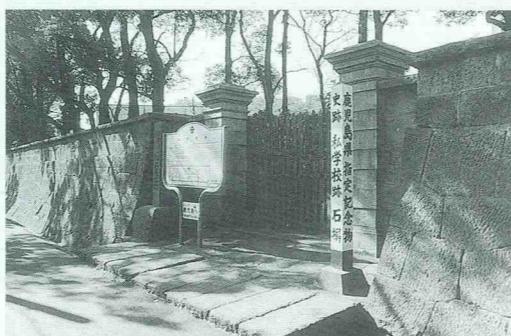
全国分・宮



⑧ 大久保利通誕生地（加治屋町）



⑨私学校跡（城山町）



A hand-drawn map of the Kagoshima city area. Key features include:

- 鹿児島駅 (Kagoshima Station)**: Located at the center of the map.
- 桜島桟橋 (Sakurajima Pier)**: Located to the west of the station.
- 稻荷川 (Inari River)**: A river flowing through the southern part of the map.
- ③西郷隆盛 終えんの地**: A label pointing to a small pyramid-shaped monument.
- ②南洲墓地**: A label pointing to a cluster of headstones.



⑩西鄉隆盛誕生地（加治屋町）



大久保利通が眠る青山墓地
(東京都・港区)



ゆかりの地を
訪ねてみませんか!!

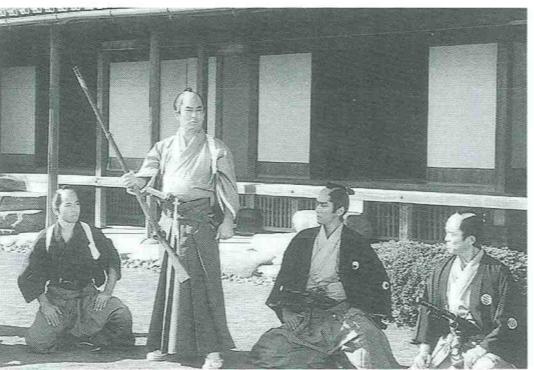
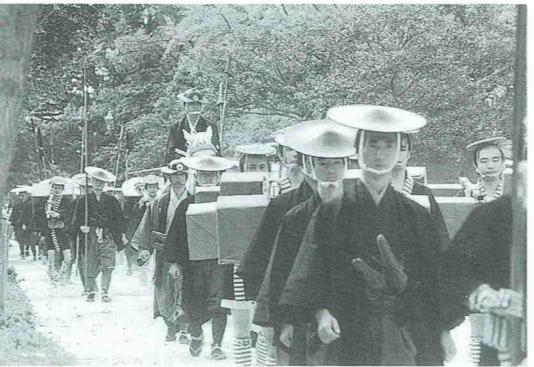
翔ぶが如く

鹿児島ロケ

「独眼竜政宗」「武田信玄」「春日局」の戦国3部作に続く平成2年大河ドラマ“翔ぶが如く”の鹿児島ロケが、去年の10月17日から22日にかけて、鹿児島市の鶴丸城跡や磯庭園のほか県内各地で行われました。

いよいよ、平成2年1月7日放送スタート。鹿児島にとって今年は、熱い1年になりそうです。

鹿児島ロケ

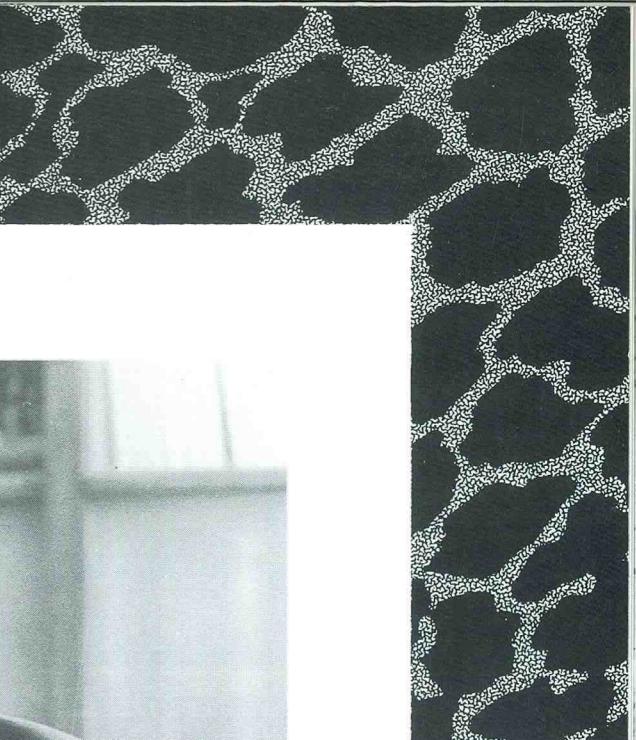


- 原作 司馬遼太郎
- 脚本 小山内美江子
- 主な配役

西郷隆盛……西田敏行
大久保利通……鹿賀丈史
島津斉彬……加山雄三
島津久光……高橋英樹
天璋院篤姫……富司純子
愛加那……石田えり
西郷従道……緒形直人
村田新八……益岡徹
有村俊斎……佐野史郎
徳川慶喜……三田村邦彦
阿部正弘……若林豪
西郷吉兵衛（隆盛の父）
……坂上二郎

大久保利世（利通の父）
……北村和夫
島津斉興……江見俊太郎
お由羅……草笛光子
調所広郷……高品格



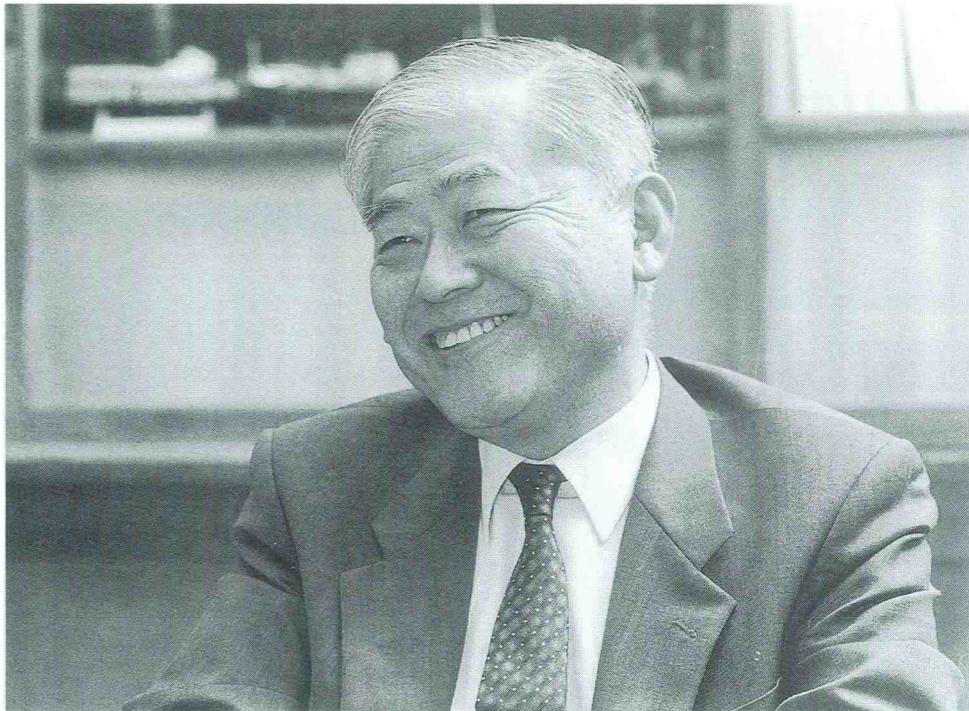


クローズアップ

ナポリ市での姉妹盟約祝賀記念式の模様など埋もれかかっていた貴重な映像記録が蘇る

●鹿児島大学水産学部練習船「かごしま丸」の処女航海記録をビデオ化

田口一夫さん



「鹿児島大学練習船かごしま丸、親善使節団乗せイタリア・ナポリ市へ処女航海」このニュースは、全国へセンセーショナルに伝えられた。昭和三十五年十一月八日のことである。この船は「当時の航海計器としては超一級を搭載した金のかかった、鹿大初のまともな船」と、計器全てを担当した田口教授は當時を振り返る。

「スエズ運河の航行料すら知らなかが、とにかくうれしかったな」それ以来、情報・資料収集が始まつた。それも手探りの状態で。かごしま丸の建造が始まったのは昭和三十四年。その翌年、鹿児島市はナポリ市と姉妹盟約を結んだ。「ちょうど進水した頃『処女航海でナポリへ』という話が飛び込んでき、壮大な話に驚いたが、とにかくうれしかったな」

い。よくやれたもんです」と

ちよつと恥ずかしそうに笑う。でも「最高の思い出」と言わんばかり。



第2世かごしま丸

ポリ市代表に市旗を贈る場面や学生による武者行列、柔道の交歓試合のシーンもある。

この記録は、昭和三十六年に四十分のドキュメントにまとめられMBCテレビで放送されたが、その後二十五年以上も研究室の片隅に置かれたままだった。それを大学が広く資料保存を行うことに至ったのをきっかけに、このほどビデオ化できた。埋もれかかっていた貴重な映像記録が蘇ったと言える。

「それは華々しい国際交流でした。しかし今、ナポリ市はさっぱり話題に上らない。どうなつてますかね」と少し寂しそう。

「学生たちの目は本当に輝いていましたよ。見送る方も『後に続くぞ!』という意欲や気迫がありました。実は鹿大では、この大事業を

い。よくやれたもんです」とちよつと恥ずかしそうに笑う。でも「最高の思い出」と言わんばかり。

航海は、インド洋からスエズ運河を抜け地中海へ。驚いたことに、ナポリに着く十二月八日までのちょうど一ヶ月の間、一度だけスエズに数時間停泊した以外は走りどうしの直行便だったそうだ。

「使節団の人たちは退屈だったでしょうね」と航海の模様を振り返るが、他の人のことは記憶が薄い。そもそもそのはず。田口教授は、航海士として当直もあり、教官として学生の指導を行い、事務長として経費の計算などの庶務や涉外もこなすという多忙さ。さらには、カメラマンとしての役目もあつた。実は鹿大では、この大事業を

映像で記録に残そうと、十六ミリカメラも購入。写真が趣味だった田口教授がファインダーをのぞいていたのだ。

航海の記録は、百フィートフィルムで三十本にのぼる。その中にはナポリでの姉妹盟約祝賀記念式の模様も収録されており、羽織はかま姿をした当時の平瀬市長がナ

したね。ロマンですよ。今の学生も持つてほしいですね」

鹿児島はナポリ使節団の前にも、薩藩留学生が大海原を渡った歴史を持っている。二十一世紀は太平洋の時代だとも言われるが、南のゲートウェイを目指すならば、今まで何隻かの船を仕立てて若き使節を全世界に送り出し、鹿児島から新・大航海時代を築けないだろうか。二十余時間あれば地球の裏側まで行ける便利な時代に飽きたらない多くの若者がロマンをかきたてられ、手を擧げるに違いないし、鹿児島の多くの情報を世界に発信できるだろう。

文／田上憲一郎 南日本放送記者

PROFILE

★静岡県三島市出身。昭和二十六年北海道大学水産学部卒、同三十年鹿児島大学へ。現在、鹿児島大学水産学部教授。

専門は海洋計測工学で、電波航法システムの研究をこれまで約二十五年間続ける。著書に「オメガ航法システム」などがある。

趣味は写真、読書。明和二丁目に奥さんと一緒に男二女の五人暮らしだ。六十歳。



学校



本年度は3、4年生が複式学級



黒神小学校

ぼくたちの学校
六年 川添 錠次
ぼくたちの学校は、鹿児島県のシンボルである桜島の東側に位置し、南岳からわずか数キロメートルのところにあります。

ぼくたちは、桜島の爆発に備え、毎朝集団登校をしています。それぞれの地区で、上級生を班長にして学校へ向かいます。ヘルメット姿がめずらしいのか、時々観光客の人が写真をとることもあります。

また、灰に見舞われると先生方と一緒に、灰こさぎ（灰かき）をするのもぼくたちの学校の特色です。

このような厳しい自然の中ありますが、ぼくたちは、ゆとりの時間に行う魚つり大会やいも植えを通して、自然のすばらしさを味わっています。

六月の魚つり大会は、近くの宇土湾まで出かけ、全校で成果を競います。また、自分たちで植えたさつまいもを収穫して、ふかして食べたり、十二月には、むかしながらのきねとうすで、もちつき大会をしたりしています。

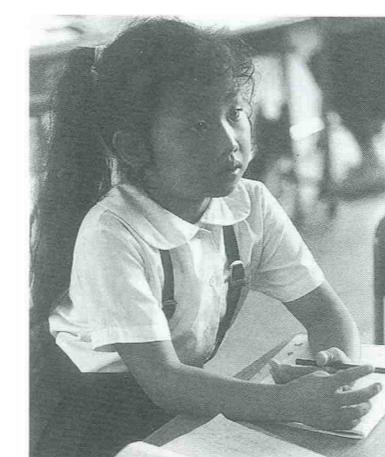
ぼくたちの学校の校章は、びわの葉を形どっています。これは、降灰やガスにも負けず、成長していくようにという願いからつくれているそうです。溶岩の流出や水不足などの幾多の苦難を乗り越えてきた黒神の人々の心を、ぼくたちもしつかり受け継いでいこうと思います。



わたしは元気な黒神っ子

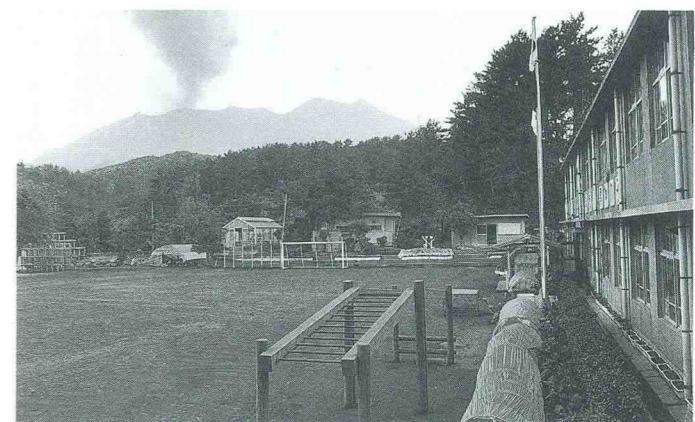


いつもより緊張ぎみ?～授業参観



ひとみ輝く

探訪



敷地は溶岩地帯の中にある



“そっちはある?”いもほり



心を込めて育てた成果～学校園いもほり



みんなで楽しく給食～毎月1回の全校会食



全員が何回も出演～学習発表会



どう？この演技力～学習発表会



桜島の開拓の話に苦労をしのぶ～お年寄りと語る会



“いつまでも元気でね”お年寄りと語る会



“負けるもんか！” 合同大運動会

保育園、小・中学校と地域が一体～合同大運動会

ふるさとの 歴史



伝豊臣秀頼の墓

市文化財審議会委員

木原三郎

上福元町木之下の福元明夫宅庭内に、豊臣秀頼の墓と伝えられるものがある。宝塔（ぼうとう）で高さ約二メートル、塔身は円筒形、直徑六十二センチの堂々とした墓塔である。

「薩摩旧伝集」「西藩野史」「谷山諸記」などの各種の文献に秀頼の薩摩落ちを肯定した記録が述べられている。

大阪城落城の時、島津氏は秀頼を薩摩に連れてきたが、徳川の難を恐れて城下に近い谷山のこの地にかくまつたという。「谷山犬のくい逃げ」という言葉もこの秀頼に由来するものと伝えられている。下部請花の文様

寛政十二年（一八〇〇）記録奉行の本田孫九郎が、塔下（いちじゆう）丈程（約三メートル）改めたが何も出土しなかったという。この宝塔は、相輪、笠石、塔身、台石からなつており、相輪の上部と下部の請花に文様が刻してある。塔身の上部は首部といつて高さが七センチもある。県下に存在する各地の宝塔と比較して、この建立年代は鎌倉時代と思われる。また文様の形式から見ると、谷山氏初代の忠光（谷山郡司）の供養塔ではないかと考えられる。しかし、秀頼の墓とし

伝豊臣秀頼の墓（宝塔）



相輪（宝輪九つ）



郷土芸能に 情熱を燃やす

下田町 世界平和太鼓

集えば楽しさ

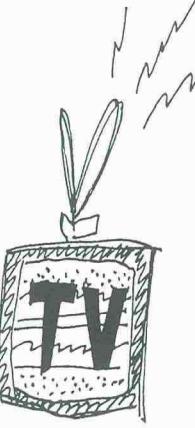
サークル紹介



「下田町・世界平和太鼓」は、自分たちの町にも何か自慢できる郷土芸能をつくりあげようと、町内に住む有志の面々が集まって、昭和59年に始められた郷土芸能です。現在のメンバーは8人。20代から50代まで、仕事も公務員や会社員、それに自営業など様々です。

毎週木曜日の夜、地元の下田公民館で練習を続けています。当初、県内外の専門家から指導を仰いだこともありましたが、手づくりの郷土芸能を伝えていきたいと、互いに励まし合いながら、練習を重ねてきました。今では、町内の六月灯や秋祭りを始め、年間50余りの催しに参加しています。

力強い太鼓の響きに、平和と繁栄への願いが込められているこの世界平和太鼓。「私たちの活動がきっかけで、地域にも活気が出てきましたし、何よりも、良き伝統としていつまでも残していきたいですね」と、メンバーの皆さんは今後の活動に意欲を見せています。



既成市街地の環境整備あるいは道路の整備が今後の発展の大きな課題だと考えています。

これからのお谷山地域の

可能性を求めて

発展の基礎となる面的な道路整備を行政にぜひお願いしたいですし、すべての出発点になると思します。

上野 市長さん、現状を踏まえた副都心谷山の開発についてはどのようにお考えですか。

市長 谷山はあと六、七年します

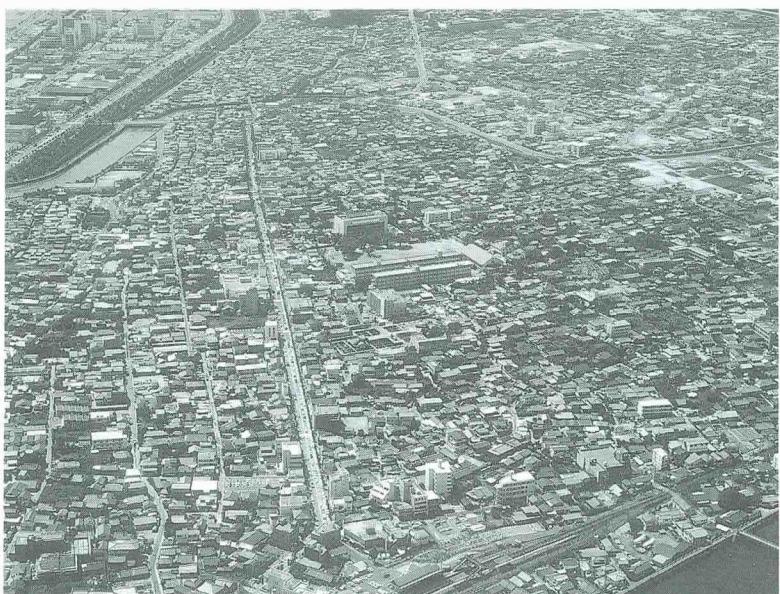
と十五万人を超えることが予想されますし、県下第二の都市の倍ぐらいの人口になるんですね。

急速に発展してきた谷山ですか
らいくつかの問題を抱えていると思いませんが、まず住居地域の環境整備、それに臨海部に代表される産業拠点の活性化をどうするか、もう一つは交通結節拠点としての

上野 市内では天文館一帯はにぎわいをみせていますが、これから谷山地域が発展していくための可能性についてはどのようにお考えですか。

川田代 わたしたち谷山商工会の

役目として、まちの活性化にもつと力を入れていくことが必要ですし、わたしたちがやらなければならぬことをしっかりと認識しながら



ら、行政と一緒になつたまちづくりを進めていかなければならない

と思っています。南薩を控えてい
るという観点から、一大消費地を
つくることが大きな夢ですね。

野久尾 谷山は指宿へ続く国道
225号線、伊作崎、川辺崎など
南薩地域との交通の拠点なんです。

この結節点の周辺には自然がた
くさん残っていますし、平川動物

公園があつたり、さらにはウォー

機能をどう高めていくかが、谷山
副都心構想の基本だと思います。
それから忘れてならないことは、

上野 市長さん、夢のあるお話を
いただきましたが・・・。

市長 いま、お二人から貴重なご
提言をいただきましたが、これか
らの谷山は単に鹿児島市の谷山地
域というだけでなく、南薩地域と
の接点という意味

からその役割は

大きいと思います。

豊かな自然、

歴史というものを

生かし、谷山らし

さを出しながら最終的
には自己完結できるようなな

まちとしての機能を持たなければ
ならないと思います。

やつぱり、まちづくりは行政だ
けではできませんので、知恵と工
作エネルギーを出し合い、地域の方々
と一緒になつてつくり上げていく
ことが大切でしょうね。

上野 きょうは、谷山の現状、そ
して将来像を考えてみましたが、
これからも谷山地域の発展が鹿児
島市の発展につながるような気が
しますね。

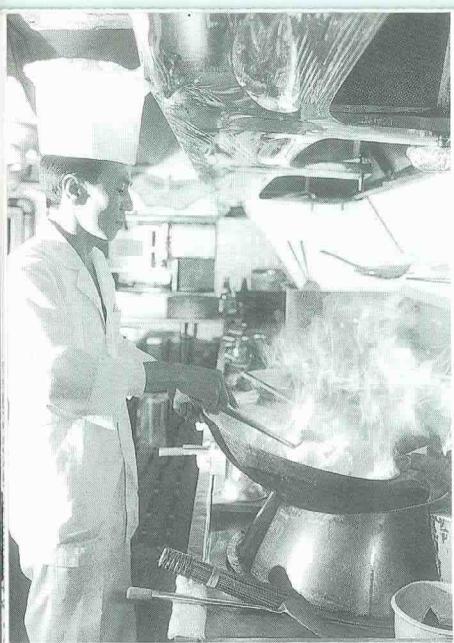
みなさん、ありがとうございました
。上野 市長さん、夢のあるお話を
いただきましたが・・・。



赤崎市長



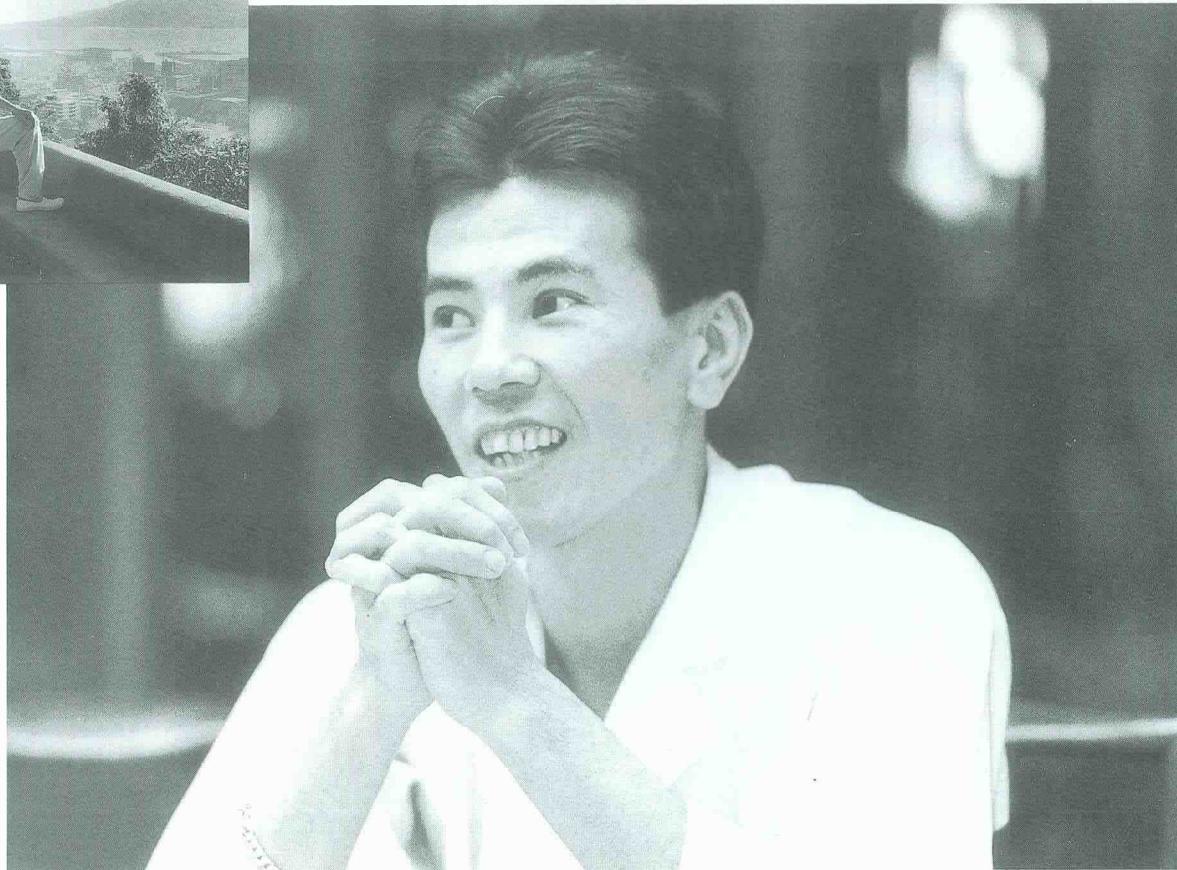
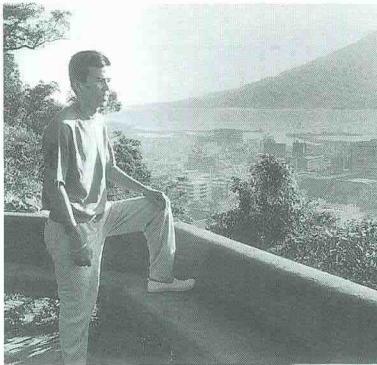
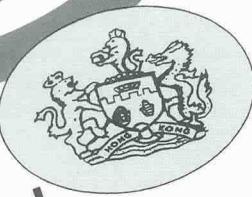
上野さん



ハローカ 鹿児島

マック チコン
麥 志光さん（香港）

HELLO!
Kagoshima



ホテルの中にある中国料理店。中国人と日本人総勢10人の調理場をまとめる調理長だ。8年前に初来鹿し、現在の職場で2年間調理長を勤めて帰国したが、料理の腕と人柄を見込まれて、一昨年再度の来鹿となった。

香港に民俗舞踊家の妻と、12歳の長男、4歳の長女を残しての単身赴任。寂しくなると家族に電話をするので、毎月3万円近い通話料がかか

ると笑顔を見せた。

山海の幸をあっさりした味で仕上げる広東料理が専門。小さいころから料理が好きで、13歳から修業を始め、オーストラリア、アメリカなど外国での経験も豊富な、コック歴23年のベテランだ。テレビや辞書で日本語を勉強し、日本の材料を生かした中国料理を工夫する努力家でもある。仕事仲間との温かい信頼関係と、お客様においしいと喜んでもら

えるのが何よりもうれしいと目を細める。

趣味はスポーツ。サッカーや水泳が好きで、天気の良い朝は、城山へのジョギングを楽しんでいる。また、カラオケで演歌を歌うのも上手とか。

慎重に言葉を選ぶ真面目な話し方と、仕事に対する真剣な姿勢に、生活信条の「誠心」という言葉がぴたりと重なった。



Your photo salon

市民ふれあい リレーカーニバル

これこそが“秋だ”と思えるべ
ストの天候に恵まれ、総勢二百人
余りの参加でリレーカーニバルは

順調にスタート。

老若男女参加によるリレー。予

選、決勝、表彰式と短くも充実の一
日。

「勤労感謝の日」返上での体育
指導員、市役所関係者の方々進行
のリレーが特筆もの。

写真と文／山崎幸志



こんにちは 市長です

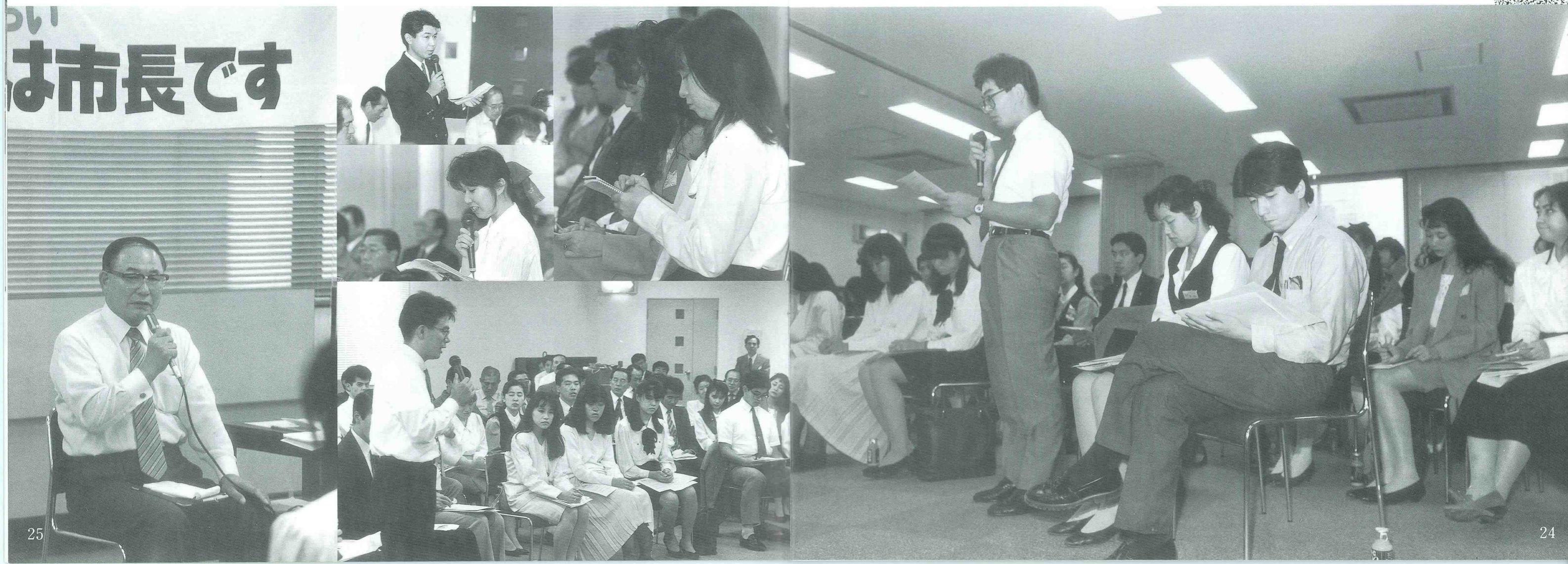


自衛防火協会の 方々との語らい

十月十六日に、市自衛防火協会会員事業所の若い方々との「こんにちは市長です」が行われました。

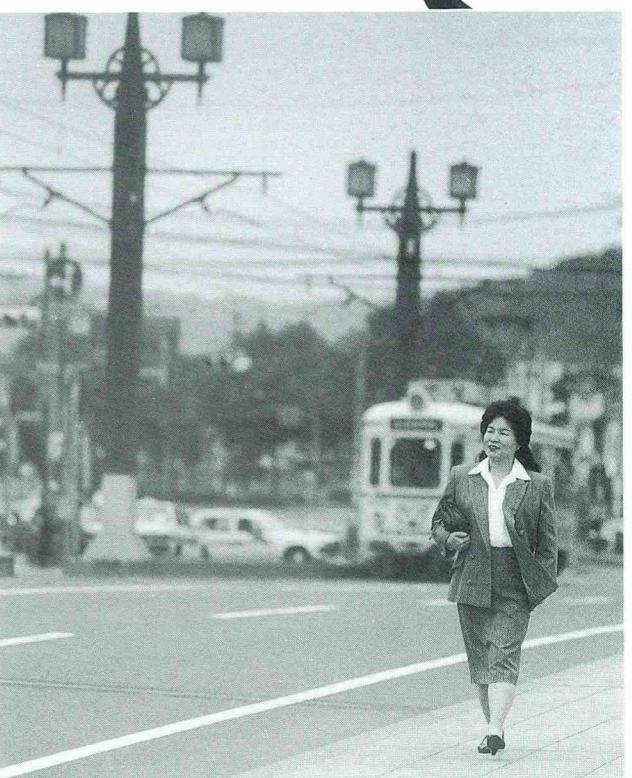
語らいの中では、製造所、デパート、病院、ホテル、福祉施設などで働く五人の代表者が日頃の各職場の防火管理について発表し、赤崎市長から「人命を何よりも大事にした皆さんの防火管理体制に心強く思っている。また、職場によって防火管理もそれぞれ特徴があり、かねてから訓練が行き届いていることに對し敬意を表したい」とのコメントがありました。

これからまちづくりについては、海岸沿線高速道路の新設、歴史と文化の道付近の駐車場確保、社会への取り組み、森のある公園づくり、地下街の建設など若者らしいユニークな提言が出され、赤崎市長は、それぞれに対して、市政の現在の状況や今後の取り組みなどを説明しました。



わたしの 散歩道

散歩道



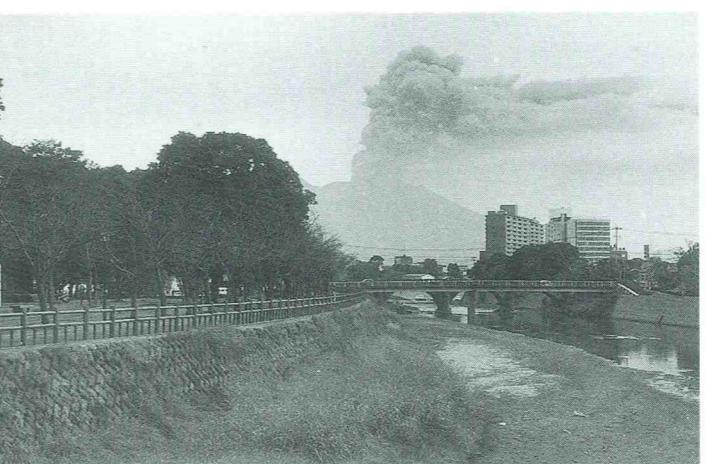
歌を通して 毎年違う自分に 会えるんです

声楽家 遊喜 ミチ子

高麗橋のすぐ上流に架かるこの小さな橋を毎日通勤に使っています。川の水もきれいになって、よく魚が泳いでいるのを見掛けますよ。この甲突川の辺りは、随分心を込めていろんなものが造られてきていました。空手をする若い人たちや散歩中のお年寄り、それに春の花見客など、みんなが思い思いにこの水辺の空間を楽しみながら使っているんですね。

十二年ほど前、高校で担任をしながら合唱部の指導をしていました。ある日、歌を歌つてみたら、全く声が出ず、歌にもならなかつたんです。自分でどうしてよいか分からず、その時初めて、自分は本当に歌が好きだったんだ、つていよいよを思い知らされました。それで、自分自身の勉強のためにも海外留学の決心がついて、ドイツに渡りました。

ミュンヘンでの留学中、五年近く生活した寮は、世界中から学生が集まって来ていました。そんな中でいろんな国の人々への理解が深まったような気がします。



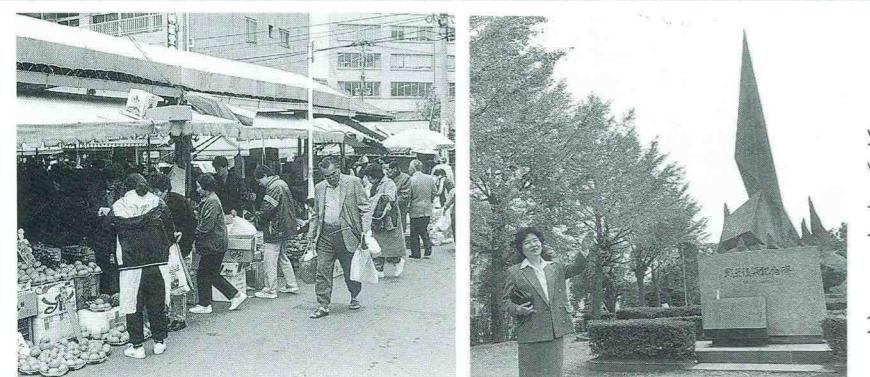
歌を歌つていて一番楽しいのは少しずつ変わっていく自分が分かることですね。年とともに自分の歌う歌も変わっていくし、自分の内面も変わっていく。自分が一体どのように変わったのか、これからどんなに変わっていくのか、自分に対する興味も沸いてきます。

仕事の後など、よくこちらの西駅前まで足をのばします。この辺りは、空間もある程度あるし、緑もいっぱいあるし、何だかのびのびした感じですね。

にぎやかさと言えば、この近くの朝市にはよく出掛けますよ。そこで新鮮な野菜や果物を買うんです。ミュンヘンにいたころも、市役所のそばにあったマーケットは何度も足を運びました。やはり市場には活気がありますし、その街のエネルギーを感じられますね。

オペラ協会での活動ももう十年以上になるでしょうか。私たちの活動は、ドイツやイタリアの本場のものは比べものにならないようないちっぽけなものですけれども、本当に小さい芽だからこそ、大切に育てていかなければなりません。いんです。

いろんな職種の人たちの集まり



●取材メモ

大根占町出身。高校時代、音楽部の先生から「本格的に歌をやってみないか」と言われたのがきっかけで音楽の世界に入る。昭和五十三年から約五年間、西ドイツ・ミュンヘンに留学。発足当初から、鹿児島オペラ協会での活動を続け、ドイツ留学から帰国後は、毎年ソロのリサイタルを開いている。本年度、県芸術文化奨励賞を受賞。

「人の運命の半分以上は偶然が左右する。大事なのは、自分の置かれた所で、ベストを尽すこと」が信条。二年前から、鹿児島女子大附属高校教諭として合唱部の顧問も務め、後進の指導にも情熱を傾けている。

カメラトピックス



①10月5日・持明院様(じめさあ)の命日に化粧直し

市立美術館の前庭にある持明院様(18代島津家久公の妻)の石像の化粧直しが行われました。心の素晴らしい女性として市民に親しまれている持明院様には、今もその人柄をしのぶ女性による供花が絶えないということです。

②10月11日・市立病院の救命救急センターが起工

市民・県民が待望していた市立病院の救命救急センター棟増改築工事の起工式が同病院本館東側の敷地内で行われました。新しいセンターは、地上7階、地下1階でベッド数は30床。最新の医療機器も充実されるなど、重症患者への効率的な治療ができるようになります。

③10月20日・谷山サザンホールが開館

谷山副都心のシンボルとして、また、谷山地区の芸術・文化活動の拠点となる「谷山サザンホール」がオープン。モダンなガラス張りの外観や、最新の設備を持つホール、大・小会議室、展示室など、多くの利用者の要望に応えられる施設として、今後大いに利用されることでしょう。

④11月2～3日・59万人の人出で賑わったおはら祭

ぬけるような秋空のもと、おはら祭が11月2日・3日の両日、天文館一帯で盛大に行われました。今回は2年ぶりの開催ということで、244連約2万2千人の踊り手の鮮やかな舞いや色とりどりの衣装に、沿道を埋めた観客も楽しく一日を過ごしていました。

⑤11月7日・市議会100周年記念碑の除幕式

鹿児島市議会が開会して100周年を迎えたを記念して、記念碑が市立美術館前庭に建立され、現職やOB議員など約100人が見守るなか除幕式が行われました。その後、参加者全員で先人の業績をたたえるとともに、新しい一世紀への飛躍を誓い合いました。

⑥11月11日・市制100周年記念シンポジウム

「21世紀の鹿児島市 その未来像」をテーマにした鹿児島市制100周年記念シンポジウムが市内のホテルで開かれ、市民約600人が参加しました。県内外の識者による講演やパネルディスカッションでは、鹿児島市の21世紀のまちづくりをどうすればよいかについて、熱のこもった意見や提言が述べられました。

⑦11月20日・ミス鹿児島の冬の制服を披露
'90ミス鹿児島の制服が発表されました。白と黒のモノトーンを使ったツーピースの制服、羽根飾りのついたトーケ帽子に身を包んだミス3人は、これから鹿児島のPRに大いに活躍してくれることでしょう。

⑧11月23日・市民生き生き健康フェスティバル開催

だれでも手軽に楽しくできる健康体操やジョギング、レクリエーションなど、市民生き生き健康フェスティバルが県立鴨池陸上競技場で行われました。望月紀美子、森尾麻衣子、宇佐美彰朗元オリンピック選手の指導で、参加した約3,000人の市民も楽しく体を動かしていました。

あの店この店

鹿児島琉球漆器

(真砂町・東開町)

磨きといつたたくさんの細かな作業を経て、お盆や菓子皿、茶たくすし桶などの製品が造られる。

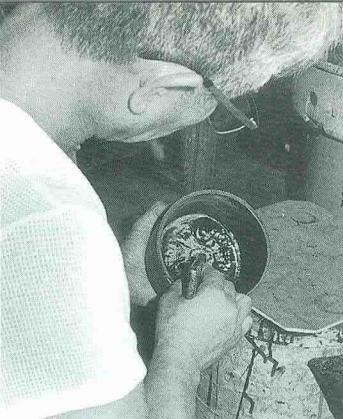
鹿児島の琉球漆器と、本場の琉球漆器との違いは、木ではなく竹を素材に使っていること。琉球塗りの技術者であつた国吉真義さん（故人）が、戦争で沖縄から疎開し、戦後、本県特産の竹に着目して造り始めたものだ。その後を継いだのが今のご主人の国吉真雄さん（63）。この道三十年以上になる。

厳選された材料をもとに、漂白、乾燥、加工、下地塗り、研磨、下塗り、中塗り、水研ぎ、上塗り、

「形や大きさが色々で、独特の味わい深い文様がある」のが、竹を使つた漆器の特徴。「これからは、伝統の技法は残しながらも、名実ともに鹿児島の特産である『薩摩漆器』を目指したい」と、ご主人は抱負を語つてくれた。



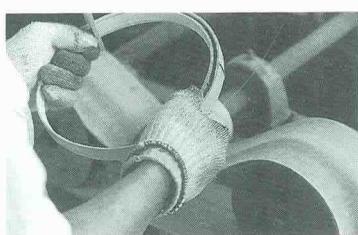
ご主人の国吉真雄さんは新しい製品の開発にも取り組んでいる。



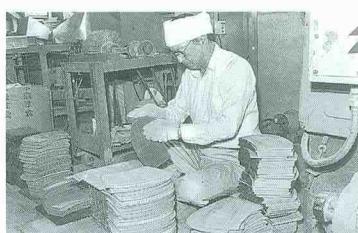
最後の仕上げとなる上塗りの作業



中塗りの後、水で研ぐ。



材料となる竹を型に合わせて加工する。



下地塗りをして丁寧に磨く。
漆器の基礎となる最も大切な作業



真砂町にあるショールーム。
お盆や菓子皿など、たくさんの
製品が並んでいる。



皮をはいた竹を輪切りにし、器の原型をつくる。（東開町の工場で）

編集後記

▼明けましておめでとうございます。

ご家族揃って健やかに新し

い年をお迎えのことと思いま

す。『一年の計は元旦にあ

り』といいますが、皆様に

は、今年に期する方もいらっしゃるのではないかでしょう。

▼さて、昨年は鹿児島市は市制百周年という歴史的な節目

を迎え、市民参加のもと多彩な記念行事を進め大成功を収めました。そして、今年は、

次の百年へ向けて更に飛躍する第一歩を踏みだす年です。

建設中の図書館・科学館もいよいよ完成します。

また、この七日からは、幕

末から明治までを描いたNHK大河ドラマ『翔ぶが如く』が始まりますが、本号では、このドラマの放映にちなみ、西郷隆盛と大久保利通を特集してみました。

▼今年も職員一同、皆様に親しまれ、楽しく見ていただけます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈りします。

市立美術館



1978年 紙本着彩 183cm×183cm

「薩摩雪」西山英雄 (1911~1989)

〈作者〉明治44年、京都市に生まれる。大正14年、日本画家の叔父、西山翠嶂の主宰する画塾・青甲社に入門する。

昭和6年、第12回帝展に初入選して、画壇へのデビューを果たす。その後も官展を主な発表の場として、戦後間もない第3回日展では、特選を受賞した。昭和33年、改組第1回日展では「裏磐梯」が文部大臣賞を受賞、昭和44年には日展理事となっている。

また、京都学芸大学特修美術科日本画講師として

後進を指導し、京都日本画家協会理事長となるなど、京都画壇の育成にも尽力。昭和49年には、京都市文化功労者に選ばれた。

桜島をはじめとした山岳を多く描き、昭和55年には、日本芸術院会員となる。昨年1月、77歳の生涯を閉じた。

なお、市立美術館では、昭和63年に開催した「巨匠たちが描く桜島展」の記念講演会で、作者に講演をしていただいた。

情景は払暁。まだ明けきらぬ冬の一日で、身の引き締まるような静寂な世界が現出しています。それと同時に、この静けさの背後に桜島の持つ圧倒的な迫力、内に秘めるエネルギーのすさまじさを感じさせるのです。

作者は山岳画家と言われ、多くの山を描きました。特に桜島にはライフケークとして取り組んでおり、多くの名作を残しています。なかでも本作品は白眉と言える出来映えを示しているといえるでしょう。

正方形の大画面いっぱいに、画面からはみ出さんばかりに大きな桜島が描かれています。しかも、噴火口付近に地肌を見せるだけで、全山見事に雪でおわされています。画面上部には、青い噴煙と火映現象が描かれ、下部には黒々とした錦江湾が横たわり、これまたまっ白に雪化粧をした市街地が配されています。

市立美術館
学芸員 山西健夫



観光客をみんなで

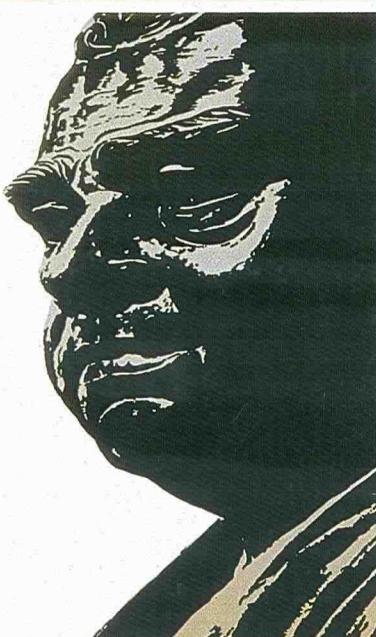
あたたかく迎えましょ。



翔
ぶが如
無
べ
口は
鹿
児
島
！



大久保利通



西郷隆盛